

施設課

2023 年度

□ 施設整備委員会

医学研究所北野病院の建築物その他の施設の環境整備の方針等に関する事、その他施設整備に関する事について、法人本部会議の諮問に応じるため、2022年10月に施設整備委員会を設置しました。2023年度の施設整備委員会では、施設整備事業の予算計画についての審議、環境改善や機能強化の要望の実現への施設面の具体的な対応の審議に加え、西館敷地再開発計画と厨房改善計画を推進するために専門部会を設置し、事業計画、事業予算、工事計画などの策定と事業実施に向けた各部門の構想、要望、課題の整理を行い、施設整備委員会での審議を経て、法人本部会議への附議を行いました。

具体的には、100周年記念事業としての西館再開発事業については、専門部会（西館再開発計画WG）を5回開催し、新たな整備手法を検討し、初期投資及びトータルでの整備コストを抑える手法として、定期借地権方式でのマンション等の収益事業との合築整備の実施について検討しました。検討の結果、自己財源による整備とのコスト比較を行い、新施設の構想を実現するための最良の整備方式として（一部借入や寄付金による）自己財源での整備を採用することが最良であるとの評価を行い、法人の意志決定を行いました。その後、新施設の具体的な内容の検討を継続するために、各部門の関係者を専門部会メンバーに加え、より具体的な構想を検討する分科会を設けて、基本計画の策定を行っています。

一方、厨房改善計画においては、給食を365日、朝・昼・晩提供することを継続しながら、厨房の課題を解決し、老朽化の対応を行う「居ながら改修方式」を選択し、その実施にむけた審議を行いました。専門部会（厨房改善計画WG）を4回開催し、改善計画を具体化しました。

また、2021年度より、本館再生改修事業として、病棟階改修とインフラ設備改修を両輪として、本館の診療環境の向上と安全安心な施設インフラの更新・補修を実施していく計画の検討を行っておりますが、財務のバランスと必要性・緊急性を考慮して審議を行っております。

□ 本館改修工事

【本館リノベーション事業完成】

2021年6月より実施したリノベーションによる本館の機能強化事業の最終年度

本館4階ICUの跡地に「ハイブリッド手術室1室」と「心臓センター手術室1室」を増設
医療機器設置工事を8月末に終え、9月2日に完成式典を開催し、全事業完了

＜全体事業概要＞（工事期間：2021年6月～2023年7月）

手術室を3階に2室、4階に2室増室、器材スペース拡充

ICU8床を10床 ・NICU/GCU再編改修

低侵襲センター、歯科口腔外科、化学療法センター 増床

血液浄化センター環境改善 ・アイセンター拡充

リハビリテーション拡充 ・1階病院玄関アメニティー向上

【本館 1 階救急部改修工事】（工事期間：2023 年 7 月中旬～2023 年 10 月初旬）
救急診療を止めずに整備を実施。

□ 工 事 （上記記載の改修工事除く）

・本 館

B 2 階 栄養部事務室 5 階 SMC 室 改修工事

B 1 階 カテ室 1 機器更新工事（次年度継続）

病棟階 重症個室 40 室改修工事（前年度末から継続）

病棟階 吹抜部 サッシ硝子飛散防止フィルム貼

4 階 中央手術室面談室改修・器材庫 1 薬剤コーナー新設工事

6 階 化学療法センター ホスピタルアート制作 共用廊下手摺新設工事

1 1 階 東病棟内装改修工事（COVID-19 対応病棟復旧工事）・監視カメラ用配線工事

外 部 水害対策その他工事（建物浸水防止 止水板設置その他工事）

外 部 自転車置場復旧工事

・新 館

医局階 書庫改修工事（フィッティング室設置）

理事長前室改修工事

・西 館

屋上階 ルーバー撤去工事

・COVID-19 対応

病棟管理区域変更に伴い、ナースコールソフト変更（1 1 階東西）

（1 1 階東病棟 一般病棟に戻す為）

□ 更新修理保全

・本 館

蒸気ボイラー更新工事（2 t × 4 基）

蒸気発生器(2.5t)更新工事

冷却塔更新工事（1 基/全 3 基）

手術室空調機整備工事その 1（7 台）

空調熱源ポンプ整備（10 台）

高圧進相コンデンサ 4 台更新

地下 無停電電源装置更新

雑用水ポンプ整備(PCW-513・514)

雑用水ポンプ PCW514 クッションタンク交換

本館送風機整備工事(52 台)

地下 3 階蒸気用減圧弁交換

入退室設備更新工事(勤怠システム更新に伴い改修)

屋上 外部機器塗装工事

加圧排煙装置インバーター交換 FSO-01・02

救急車出入口光電センサー修理

電話 I V R 設備導入

（主な項目のみ列記）

□ 西館敷地活用

西館敷地の新たな活用については、西館の建て替えによる新施設の整備を実施することを選択しました。その手法としてマンション等収益事業との合築での整備も検討しましたが、最終的には、自己財源による建て替えを選択しました。

新施設は、「健康・予防医学の提供施設」「病院バックアップ機能整備」を骨子とし、地上6階、延床面積 5,000 m²程度を想定しています。また、西館敷地の新施設への移行により、将来構想への対応や病床再編計画を実現し、さらなる医療の質向上・収益改善に向けた施設整備の実施を推進していきます。

□ 各種委員会

施設課において所掌する院内の各種委員会は以下の通りです。

施設整備委員会／防災対策委員会／医療ガス安全管理委員会／省エネルギー推進委員会
施設課業務に密接な委員会は、以下となります。

北野BCP委員会／衛生管理委員会／医療放射線管理委員会／放射線安全管理委員会

特定放射性同位元素防護委員会／DX推進委員会／広報ブランディングPJ／苦情処理委員会

□ 建物設備管理

日常機器運転業務・日常巡回点検・月例点検業務・週間点検業務・不具合処理・年間保守作業対応業者関係受付立会業務・他緊急時対応・医療器不具合時の一次対応等を行いました。

本年度のエネルギー使用量は、総合電力使用量が、前年比、67,670kwhの減少となり、対前年比0.4%の減少となりましたが、新館での使用量が前年比65,700kwh減少した為、本館では1,970kwhと微かな減少でした。

ガス使用量は、前年比97.02%、本館使用量で55,800 m³減少。要因は、冬季暖房期に更新済ガスボイラーを中心に熱源確保し、吸収式冷温水機での暖房運転時間を短縮した事が上手く機能し、全使用量を減少させる事が出来ました。

(ガス使用量対前年比：ボイラー使用量45,600 m³増・吸収式冷温水機117,800 m³減)

原油換算量では、対前年比で80.8k[㊦]・約1.3%減少しました。

水道については、2,427 m³使用量を削減しており、井水汲上量は前年比で105.8%となりました。市水と井水を合算した総使用量は、前年比で98.35%でした。

但し、支出額については、2022年初めからの原油価格高騰に比例したエネルギー単価高騰の影響は残っており、前年比で、電気93.32%、ガス66.83%と大幅減少となっていますが、電気・ガス合算の前々年比では136.8%となり、厳しい状況は継続しています。

(ガス単価 激変緩和対策事業支援あり (2022年2月～23年9月30円/m³・2023年10月～24年5月15円/m³))

□ エネルギー使用量

電 力 量 (kWh)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	対前年比	対前々年比
本館+新館	16,271,114	16,591,171	16,523,501	99.59%	101.55%
本館のみ	14,154,114	14,417,671	14,415,701	99.99%	101.85%

ガ ス(m³)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	対前年比	対前々年比
本 館	1,983,370	1,871,505	1,815,691	97.02%	91.55%
新 館	855	689	706	102.47%	82.57%
計	1,984,225	1,872,194	1,816,397	97.02%	91.54%

水道使用量	2021 年度	2022 年度	2023 年度	対前年比	対前々年比
本 館 市 水 (m³)	125,522	120,776	117,047	96.91%	93.25%
本 館 井 水 (m³)	26,653	22,972	24,307	105.81%	91.20%
新 館 市 水 (m³)	3,706	3,596	3,563	99.08%	96.14%
計 (m³)	155,881	147,344	144,917	98.35%	92.97%

□ 不 具 合 対 応 件 数

事故・不具合対応についての総件数は 2,672 件であり、前年より大幅減少となりました。今年度も省エネと機器不良の予防保全としてダウンライトの LED 機器への更新を 208 台実施しました。蛍光灯製造中止の 2027 年問題もあり、今後も強固に LED 化を進めていく必要があります。

衛生機器では、洗面台・トイレ等の排水詰り及び配管・パッキンの取替が多く、給排水設備は竣工以来の各部品の劣化によるものが多いと考えられます。今後も各機器の不具合発生前に異常を改善できるよう、計画的な予防保全を実施していくことを考えています。

電話設備の総対応件数は 316 件と前年度より 26 件増加（前年比 9.3%の増）となりました。内容については、PHS 電話の新規登録や不具合対応が全体の 87%と多く、固定電話・FAX の不具合が 13%でした。

病室作業としては、コンセントやアンテナの不具合が多くその殆どがベッド移動の際の接触が原因としてあげられます。また、ナースコール呼出ボタンやタッチパネル・ベッドコントローラー・フットスイッチ・呼出マイクなどの不具合件数については大きな増減はありません。

「不具合対応件数」

項 目			2021 年度	2022 年度	2023 年度
給排水関係	洗面台詰り	ラバーカップ使用	35	40	41
		排水管クリーナー使用	127	112	120
		カンツール使用	13	7	12
		バキューム使用	1	1	3
		配管分解清掃(整備含む)	17	15	7
	大便器詰り	ラバーカップ使用	146	134	148
		カンツール使用	8	2	2
		便器取外し	0	2	1
	給排水設備対応	部品取替等	309	263	284
ウォシュレット	不具合対応	50	33	47	
電話関係	P H S 新規設定 ※		93	100	112
	P H S 不具合取替対応		75	92	97
	P H S 不具合対応		48	49	67
	固定電話 不良取替対応		23	27	19
	固定電話 不具合対応		32	22	21
NC 設備他	ナースコール・呼出ボタン		27	28	29
	ベッドコントローラー取替		14	11	13
	フットスイッチ取替		22	33	27
	呼出マイク		32	7	5
他設備対応	病室風向調整		93	106	66
	病室温度設定変更		54	47	34
	電気工事(軽)		449	509	351
	空調機スプレー管清掃		4	1	0
	空調機中性能フィルター取替		6	3	16
	建具・防犯カメラ・整線		224	182	154
	Vベルト取替	件数	20	32	38
		本数 ※	55	71	86
	管球取替	件数	1103	1177	1070
		本数 ※	2235	2473	2104
合計件数	(※ 新規設定・本数除く)		2932	2935	2672

□ 総 括

5月初旬、新型コロナウイルス感染症が感染法上5類に移行した事を受け、コロナ患者対応病棟の受入ベッド数を縮小し、最終的には専用病棟を廃止し一般病棟へと戻しました。病棟復旧に伴い、次亜塩素酸での消毒で傷んだ内装材の貼替を中心とした改修工事を行い、かつ、将来、当該病棟で感染対応が即座に開始できるよう配線類の整備も併用して実施しました。

2021年6月から継続している本館リノベーション事業については、最終エリアである本館4階ICUの跡地に「ハイブリッド手術室1室」と「心臓センター手術室1室」の増設工事を5月末に、医療機器設置工事を8月末に仕上げ、事業計画の全工程が完了しました。9月より上記2室の稼働を開始し、既存の手術室についてもダビンチを含め、脳神経外科と心臓センターの使用場所を明確化する事で、運用面での効率化が図れるようになりました。

※ 手術室数： リノベーション前 11室 → リノベーション後 15室)

拡張性の高い心臓センター手術室	：約60㎡	ROOM21	1室
ハイブリッド手術室(西日本最大級)	：約94㎡	ROOM22	1室
3階デイ・サージャリー手術室(昨年度実施)			2室 計4室増室

また、1 階救急部では、患者観察における視認性の悪さが課題となっていた為、中央にスタッフステーションを設置し、ステーションと診察室側の壁面には大型 F I X 窓サッシを取付け、救急初療室側の壁面パネルは撤去し、ステーションから全方面が見渡せるよう視認性を確保しました。さらに、診察ゾーンから C T 撮影室へ直接通ずる動線を確保し、より安全な対応が可能となりました。工事中、救急車受入台数が減少する事を懸念しましたが、救急診療を止めずに整備する工事ステップ計画とし、救急部の協力の元、工事が実施できた為、受入台数に影響はありませんでした。

本館大型設備については、老朽化対策が必要な時期となってきた為、予防保全対策として、機器類の更新に着手した初年度となりました。

蒸気ボイラー設備は様々な熱負荷に無駄なく対応可能なように「ろ筒煙管式(2 台 1 組)」から「貫流式(4 台 1 組)」へシステム変更し更新実施。その他、蒸気発生器(2,750kg/h)、屋上冷却塔設備 1 基(全 3 基中)、大型空調機のうち手術室系統 7 系統、冷水・温水を搬送する空調用大型ポンプ 10 系統についても整備しました。

次年度以降も大型機器設備の更新は、整備の優先順位を決めて進めていく予定です。

防災関係は、コロナ禍で滞っていた「災害対応訓練」を 4 年振りに 200 人規模で実施しました。令和 6 年度能登半島地震の際には当院初の派遣支援を行い、当課は災害対策本部として A-MAT 隊・J-MAT 隊の派遣に必要な物品類を準備しました。

また、北野 BCP 委員会で検討していた「本館の水害対策」として、地下スロープ上部の止水板による水位レベルを既存より引き上げるべく「止水板設置その他工事」を 3 月末に実施しました。

【 業 務 記 録 】

□ 諸 官 庁 届 出 関 連

省エネルギー定期報告書・中長期計画書	近畿経済産業局・文部科学省・近畿厚生局
エネルギー消費統計調査	経済産業省
大阪府温暖化防止条例実績報告書	大阪府
大阪府温暖化防止条例対策計画書	大阪府
地下水採取量報告書	大阪府

・ 大阪市提出

公開空地等維持管理報告書	有効通路等変更承認申請書
建築物設備定期検査報告書	建築物定期調査報告書
防火設備定期検査報告書	水質検査計画策定報告
昇降機定期検査報告書（エレベーター 2 社・エスカレーター）	
第一種管理化学物質排出量届出書	化学物質管理目標決定及び達成状況届出書
産業廃棄物管理票交付等状況報告書	特別管理産業廃棄物処理計画書
特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書	

・ 大阪市（北消防署）

防火設備定期検査報告書	防火対象物点検結果報告書
防災管理点検結果報告書	

・ 検査対応

大阪市北消防署	2024 年 1 月 22 日
大阪市環境局（ばい煙）	2023 年 6 月 15 日
大阪市建設局下水道河川部（特定施設）	2024 年 2 月 20 日

□ 定 期 点 検

共用部扉点検	56 箇所	病棟共用部扉点検整備	5 室
車椅子点検整備	130 台	車椅子エアー点検	22 台
点滴台点検整備	54 台	歩行器・三輪四輪車	- 台
ストレッチャー点検	- 台	ワゴン車点検整備	- 台
空調機フィルター	232 枚	ファンコイルフィルター	4702 枚
ガラリ清掃	1108 箇所	F O A フィルター取替	87 枚

カテ室アルコール清掃 医療ガス保守点検 第一種圧力容器検査受検立会
植栽作業 フィルム回収 廃材廃液回収 小型器具類取付 ナースコール設備保守点検

日常業務

建具修理 総数 202 件

ハンドル修理	23 件	ドア修理	8 件	シャワー室ドア	42 件
スライド扉修理	59 件	フランス落し修理	13 件	トイレドア修理	3 件
折戸修理	1 件	窓修理	6 件	把手修理	4 件
サムターン修理	8 件	箱錠修理	4 件	トイレ非常ボトム	2 件
ドアコーザー修理	10 件	鍵穴メンテナンス	14 件	ボタン錠修理	5 件

機器修理・取付総数 281 件

カーテンレール	18 件	カーテンランナー	65 件	感染ラック	15 件
ペーパーホルダー	18 件	ラック類組立	26 件	掛時計	10 件
家具修理	47 件	ロッカー鍵修理	27 件	鏡	6 件
ホワイトボード	20 件	シャワーフック	6 件	タオル掛修理	9 件
絵画フック取付	2 件	ブラインド・ロールカーテン	4 件	コップホルダー	2 件
金庫	6 件				

医療関連物品修理 177 件

ベッド修理	1 件	車椅子修理	66 件
歩行器・三輪車・四輪車	3 件	点滴支柱台修理	54 件
ストレッチャー修理	3 件	ワゴン修理	43 件
体重計修理	6 件	身長計修理	1 件

その他 172 件

手摺キャップ取付	4 件	看護マット貸出回収	6 件
合鍵作成	12 本	切文字作成貼付	18 件
ポスターテプラ表示	14 件	窓フィルム貼付	6 件
壁陥没補修・クロス補修	9 件	コーナーガード取付	4 件
物品搬出・搬入	69 件	レイアウト変更	5 件
冷凍庫霜取	6 件	音姫修理	3 件
タイルカーペット貼替	3 件	机・椅子 修理	11 件
床シート補修	1 件	配線整線	4 件
シーリング	1 件	ソフトナース寸法切	1 件

案内サイン増設・合板加工（看板、敷板等）・TV 壁掛け施工・固定電話壁付け施工

病棟階照明器具調査・きたのホール床(CP)ポイントマーク更新

イベント飾付製作(メディカルワンダーランド・世界糖尿病デー・世界腎臓デー・クリスマス等)

窓網戸造作・塗装作業(病棟ナースピットワゴン・看板 等)

病室トイレドアレバーハンドル交換(樹脂製→ステンレス製)

大型マグネットボード取付・監視カメラ取付・カーブミラー取付

厨房ステンレス板取付・廃棄ディスク他一時保管用金庫設置(情報漏洩対策)
二酸化炭素濃度計設置・北野病院名義自転車修理(訪問リハビリ・地域医療 等)
採淡ブーススイッチカバー補修 本館 A 階段手摺金物増設補強
除草作業・高木灌水 東西玄関・車道・スロープ溝清掃
COVID-19 対応 (陰圧テント設置 病棟編成対応(11 階東西) 他)
予防 保全 対応 (WC 扉・アコーディオンカーテン・手摺 他)

・ 適正計量管理検査 12 回／年

デジタル血圧計 208 台 水銀血圧計 1 台 マノメーター血圧計 2 台
質量計 164 台 (電気抵抗式 102 台・バネ式 19 台・ヘルスメーター 43 台)

・ 芯温計測定検査 4 回／年 計 13 台

・ 大型機器院内搬送 2114 台 シュレッダー類搬送 888 箱
廃液回収 456 缶
シュレッダー処理 1968 袋 重量 56,600kg (エンボスシュレッダー 12 回、16 袋)

・ 研修会場設営・回収 206 件

・ 大型ポスター合計 463 枚

布印刷 101 枚 紙印刷 314 枚 和紙印刷 8 枚 光沢紙印刷 85 枚 合成紙印刷 38 枚
総長 527.4m 総印刷面積 417.6 m²

医師学会用ポスター、各部署より依頼のもの
院内部署移動による案内地図・案内掲示物 作成